ああ白雲の谷深く　都の塵も通ひこぬ
この山川のうちにこそ　まことの丈夫出づるなれ

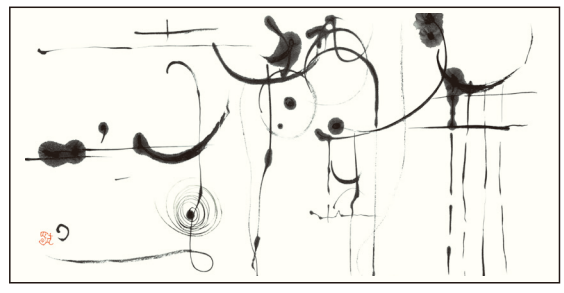
赤石山は巍々として　我が南信の骨を成し
天龍川は逶迤として　我が伊那郡の血を成せり

飯田高校同窓会報
第 75 号
発行人
395-0004 飯田市上郷黒田450
長野県飯田高等学校同窓会長
宮島八東
編集委員長
平沢忠明
印刷所
㈱南信州新聞社

同窓会事務局
TEL 0265(23)2650
FAX 0265(52)3392
http://www.iikou-d.jp/
E-mail:ikdj@iikou-d.jp

〔絵〕《飯田高校讃歌 2016》
油彩 F30
小池　敏文（高20･元美術班）

校歌をモチーフに、想い出深い古い校舎と新しい時代を創る新校舎､取り巻く山川、伊那谷四季を構成して、オマージュとなるよう制作しました。



〔書〕無　聲　詩（むせいのし）
石原　寛也（獨往　高33）

「無聲詩」とは、絵画のこと。詩は「有聲画」、書は「無聲音楽」と言われる。しかし、書は詩・画・音楽の全てを呑み込む。書くことと描くこと、そして奏でることを一つにしようとした。

楽しい交流の場に
母校に集まろう!!
定期総会当番
高20回生実行委員長　原　勉

ある同窓の先輩の言葉です。「同窓会に参加する意義は自分を見詰め直す場」だと。昨年私は副会長を仰せつかり、本同窓会に多く関わる事となりました。それ以前は首都圏支部の活動に参加してきましたが、当活動で、上は15歳、下は25歳の年齢差で実に多くの方々にお会いすることができました。

その一方で私は思います。飯伊地区は心の故郷、この故郷にあって飯田高校は多感な時代の自己形成の場だったと。この場たる飯田高校を共通にして語り合う時、年齢・男女関係なく実に多くの知己を得る事ができました。結果、同窓会主催の同好会のみならず、知己を得た方達との様々な集まり・活動を通し、自分を見詰め直し、今後の示唆を得る良い機会となっております。

私は次に社会貢献の意で思います。即ち、個々人が、飯田高校で培われた自己の持てる気質でもって、地域社会・仕事関係等の分野で、少しでもお役に立っているならば、正にそれは立派に社会貢献していると言えるのではないでしょうか。勿論、本同窓会の社会貢献活動への参加は当然の事ですが。いずれにしても、何か共に活動するうえでは、先ず親睦を図る事が肝要と言えます。仲良くなって、気心知れてこそ、初めて気持ひとつになり、目的を共に見据え、事をなし得ると言えるのではないでしょうか。

最後に一言、改めて本同窓会の目的を申しあげます。「本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校との関係を密接にし、その発展に寄与することを図りながら社会に貢献していくことを目的とする」と。

今年はリニア中央新幹線の工事が2027年開通に向かって本格的に着工されます。私達20回生の7割位が故郷を離れています。このような現状で同窓会定期総会の当番幹事をお引き受けすることになりました。

私達はいわゆる「団塊の世代」と呼ばれる最後の年代の昭和24、25年生まれの仲間です。昨年の定期総会での引き継ぎ以来、実行委員会を結成し、企画委員、クラス幹事を中心に準備を進めてきました。多くの仲間が卒業以来50年近くを経て、故郷、母校に結集できると喜び、連絡を取り合うなど大いに盛り上がっています。100人を目標に「20回生結集せよ!」と頑張っています。記念講演会、アトラクションも20回生で担いますので楽しみにして下さい。

高20回生実行委員会のコンセプトは、生まれ育った故郷の素晴らしさを再認識し、母校で先輩、後輩と語り合い、今一度、原点回帰する機会にしよう、ということです。意義ある総会、楽しい交流の場になるよう実行委員一同、おもてなしの心で、皆様をお待ち申し上げております。

定期総会のご案内

平成28年度定期総会を下記にて開催いたします。つきましてはお誘いあわせ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日　時　平成28年6月12日(日)　開会13時30分
2. 会　場　**マリエール飯田　〈ウィンザーの間3F、バースの間4F〉**
   飯田市羽場坂町2346-1　℡ 0265-24-4122(代)
3. 議　題　平成27年度事業･決算報告、平成28年度事業･予算案、他
4. 記念講演　講師　篠田　雅幸さん(高20回)
   演題　「がん治療の現状と課題」
5. アトラクション　マリンバ演奏　林　宗吉さん(高20)、ピアノ伴奏　羽生和子さん(高20)
6. 懇親会　開宴　17時20分
7. 会　費　懇親会出席者　6000円／名
8. 申込方法　事前(6月9日まで)に5月1日発行会報75号同封の「定期総会出席申込票」ハガキにてお申込下さい。
9. 問い合わせ先　同窓会事務局　℡ 0265-23-2650

嵐青

「私達が今、こうして活動出来るのは宮澤芳重さんのおかげです」。昨年11月から今年1月にかけ､松川町と飯田市で行われた宮澤芳重没後45周年記念事業で活動発表した飯田高校天文班の生徒の言葉である（6面参照）▼松川町出身で、東京で日雇い労働をしながら故郷に大学設立を提案して寄付を続け､飯田高校の天文台設置に貢献した宮澤芳重さん。今も生徒たちに感謝の心が引き継がれていた▼記念事業の実行委員会では、NHK番組『地蔵になった男』上映会記録集を発行したり、DVD学習教材を制作するなど芳重さんの学びの心を次世代に伝える活動を続けている▼実行委員長で画家でもある松下拡さん(高2)は本会報の前号1面に「伊那谷風景」と題する絵を寄せ「四季折々、終日変化し続ける山景、人々の志の原点となってきているこの谷のもつ意味は深く重い」と書いた▼この谷に生まれ､気高い志をもっていた一人が芳重さんであろう。改めて芳重さんの志に学びたいと思う。（平忠）

定期総会記念講演

がん治療の現状と課題

講　師　愛知県がんセンター中央病院　名誉院長　**篠田　雅幸**さん（高 20）

昭和 58 年から 32 年間外科医としてがんの治療の最前線で仕事をしてきました。今回の講演ではがん治療の現状と問題についてお話しします。治療の中心である病巣の切除は内視鏡的切除、鏡視下手術、ロボット手術の導入で身体的負担軽減が進んできました。臓器を温存できる放射線治療は技術の向上により役割を広げています。遺伝子解析や分子生物学の進歩はがんの生物学的特性を明らかにし、分子標的治療や免疫療法などの個別化治療に道を拓きました。これらを組み合わせた集学的治療は着実に成果をもたらしています。その一方、診断時すでに異なった性質をもった細胞の集合体と化しているがんの不均一性など未解決の課題も多々残っています。

アトラクション　マリンバ演奏

マリンバ奏者　林　宗吉さん（高 20）
ピアノ伴奏　羽生　和子さん（高 20）

【林宗吉さんプロフィール】
早稲田大学理工学部卒業、多摩川精機㈱定年退職。小学生の頃からマリンバに興味をもち、平成 6 年以来、武井明美氏に師事。老人施設、保育園等で年間 50 回ほどマリンバ演奏を行っている。演奏はマイク・スピーカーを使わないで、ローズウッドの生の音を聴けます。混声合唱コールハイネ代表、一般社団法人日本禁煙友愛会龍峡支部長、特定非営利活動法人緑のそよ風（マリンバ演奏と普及）理事長。

財務委員会

同窓会活動の根幹となる維持会費は、昨年度と同様40％以上の納付率となる見通しで、皆さんのご協力に感謝申し上げます。

このほど維持会費納入の受け皿となる金融機関を、郵便局のほか八十二銀行、長野銀行、飯田信用金庫、みなみ信州農協に拡充いたしました。これに伴い会費納付の利便性が高まったものと思います。自動振替は年会費千円に割引、ネット振込は時間内に納付手続きができなかった若年層の方にも夜間のパソコン、携帯電話からの納付が可能となりました。これを機に、より多くの皆さんの維持会費納付をお願い申し上げます。

財務委員長　宮澤豊司（高17）

総委員会

同窓会の7委員会が年に一度、意見交換をする総委員会を、財務委員会の当番で10月17日、「ホテル弥生」で開催しました。

会議に先立ち恒例の歴史散策として飯田城ゆかりの山門を巡りました。「あかいし学遊会」の中島正韶会長（高11）の名解説が毎回好評で、27人が紅葉の始まった初秋のなか探訪を楽しみました。会議では各委員会内の意見交換のあと合同会議で報告が行われました。

当番委員長　宮澤豊司（高17）

同好会だより

赤石ゴルフクラブ

第4回コンペは昨年10月7日、高森ＣＣで開催。98人が参加し、小椋邦彦さん（高16）が優勝しました。今年は10月12日、飯田ＣＣを予定、7月下旬に同窓会より開催通知を送ります。同窓会ならではの親睦ゴルフの愉快さを満喫しましょう。

参加費の一部は母校教育振興基金に寄付し、隠れた貢献をしています。

澤柳紀彦（高5）

第４回コンペで優勝した小椋邦彦さん（右）

赤石将棋同好会

野球も将棋の世界も全国大会出場を夢見ます。昨年の冨田開登君に続いて今年も1月に1年生久保雪菜さんが全国大会に出場という快挙をとげました。残念ながら決勝へ進めず、予選で3勝して１５０人中45位に終わりましたが、すごい出来でした。（6面参照）

大会前に偶然良き指導者に会ったことはラッキーでした。その指導者は日本将棋連盟の奨励会（プロの手前）までいった佐藤歩さんで、飯田へ来て学習塾の講師をするかわら観光の人力車を引かれています。当校生徒が佐藤さんの塾に行って偶然出会ったのがつながりのきっかけです。そのお陰と言いますか久保さんはメキメキと上達したことは間違いありません。

同好会との交流試合や生徒間の試合でもほとんど勝てなかった彼女が短期間で本当に腕を上げました。良き指導者に会ったからこそ目覚ましく力をつけたと言っても過言でないと思います。

赤石将棋同好会では現役生徒と交流対局を行っており、また年に一度大会を開催の予定です。将棋に興味をお持ちの方は上手い下手は関係なく入会して下さい。

角田禊治（高11）

飯田高校同窓会主催

講演会ご案内

（一般の方も聴講可）

講　師　市瀬　卓（たかし）さん（高 33）
演　題　「世界が教えてくれたもの ～南米、北米、そして欧州～」
日　時　平成 28 年 5 月 6 日㈮ 14 時 5 分～ 15 時 25 分（受付　13 時 30 分より）
会　場　飯田高校小体育館

【講師経歴】
喬木村出身。上智大学外国語学部英語学科卒。1986 年 NHK 入局。松山放送局を経て国際部記者。2014 年から NHK 前橋放送局副局長。

第 11 回「ユリノキ会」報告

女性が輝いて生きるために

平成27年11月15日、杉山正子さん（高22）を講師に講演会ならびに懇親会を開催しました。

杉山さんは産婦人科クリニック院長として活躍中で、近年の人口減・女性産婦人科医師事情、職場・家庭・社会の変革が進むなか、プロとして職業を選択した自分の意識改革と同時に、仕事と子育ての両立にはご主人をはじめ周囲の助けを得るための受援力・関係作りが大切なこと、また認知症予防と性、中年・老齢期の性、女性が輝いて生き続けるために幅広く具体的に〝生と性〟についてお話しいただきました。

講演中の杉山さん

講演会62人、懇親会37人の参加者から「こんな大切な話、もっと若い人にも聞いてもらいたい」等多くの意見をいただきました。

実行委員長　村澤ふき子（高18）

第 12 回　ユリノキ会のご案内

会員以外の聴講を受付ます

開催日　平成28 年 11 月 13 日㈰
13 時 30 分 ～ 16 時 30 分
受付開始　13 時より
会　場　飯田高校　大会議室

講　演　講師　堀米 玲子さん（高 26）
演　題　「老化と皮膚病」13 時 40 分 ～ 15 時 10 分
アトラクション　飯田高校吹奏班　演奏（小体育館）
15 時 20 分 ～ 15 時 40 分
懇親会（茶話会：同窓会新事務所）15 時 50 分 ～ 16 時 30 分

【講師略歴】
昭和 55 年信州大学医学部医学科卒業。同年信州大学医学皮膚科学教室に入局。昭和伊南総合病院皮膚科（非常勤）を経て、飯田市立病院皮膚科。本年 3 月退職。

平成28年度一般会計収支予算書（案）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

収入合計額　16,715,740
支出合計額　16,715,740
差引残高　0

【収入の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	前年度予算Ⓑ	増減 Ⓐ－Ⓑ
繰越金	1,918,740	2,143,457	△ 224,717
入会金	417,000	424,500	△ 7,500
維持会費	8,500,000	8,500,000	0
会費前受	1,200,000	1,200,000	0
在校生維持会費	2,780,000	2,830,000	△ 50,000
会報広告費	800,000	800,000	0
雑収入	100,000	100,000	0
特別会計より借入	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
合計	16,715,740	17,997,957	△ 1,282,217

【支出の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	前年度予算Ⓑ	増減 Ⓐ－Ⓑ
総務費小計	**6,360,000**	**6,360,000**	**0**
人件費	3,200,000	3,200,000	0
事務消耗品費	760,000	760,000	0
水道光熱費	170,000	170,000	0
慶弔費	50,000	50,000	0
総会費	500,000	500,000	0
役員会費	70,000	70,000	0
委員会費	50,000	50,000	0
通信費	260,000	260,000	0
印刷費	1,000,000	1,000,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
振替手数料	20,000	20,000	0
雑費	130,000	130,000	0
事業費小計	**4,900,000**	**4,750,000**	**150,000**
支部祝儀費	400,000	400,000	0
会報発行費	3,300,000	3,300,000	0
CD製作費	0	0	0
諸会合会費	400,000	250,000	150,000
OA化諸費	350,000	350,000	0
生徒褒賞費	150,000	150,000	0
事業推進費	300,000	300,000	0
クラブ助成費	834,000	849,000	△ 15,000
会費前受積立	1,200,000	1,200,000	0
在校生会費前受積立	1,946,000	1,981,000	△ 35,000
引越費用	0	2,500,000	△ 2,500,000
名簿作成費	1,000,000	0	1,000,000
予備費	475,740	357,957	117,783
合計	16,715,740	17,997,957	△ 1,282,217

平成27年度一般会計収支決算書

（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

収入合計額　19,892,772
支出合計額　17,974,032
差引残高　1,918,740

【収入の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	決算額Ⓑ	差異Ⓑ－Ⓐ
繰越金	2,143,457	2,143,457	0
入会金	424,500	424,500	0
維持会費	8,500,000	8,700,620	200,620
会費前受	1,200,000	2,627,200	1,427,200
在校生維持会費	2,830,000	2,830,000	0
会報広告費	800,000	925,000	125,000
雑収入	100,000	241,995	141,995
特別会計より借入	2,000,000	2,000,000	0
合計	17,997,957	19,892,772	1,894,815

【支出の部】（単位：円）

科目	本年度予算Ⓐ	前年度予算Ⓑ	増減 Ⓑ－Ⓐ
総務費小計	**6,360,000**	**5,463,561**	**△ 896,439**
人件費	3,200,000	3,016,300	△ 183,700
事務消耗品費	760,000	812,299	52,299
水道光熱費	170,000	69,852	△ 100,148
慶弔費	50,000	30,000	△ 20,000
総会費	500,000	379,543	△ 120,457
役員会費	70,000	34,600	△ 35,400
委員会費	50,000	46,461	△ 3,539
通信費	260,000	268,576	8,576
印刷費	1,000,000	551,340	△ 448,660
旅費交通費	150,000	120,920	△ 29,080
振替手数料	20,000	5,120	△ 14,880
雑費	130,000	128,550	△ 1,450
事業費小計	**4,750,000**	**4,495,169**	**△ 254,831**
支部祝儀費	400,000	329,000	△ 71,000
会報発行費	3,300,000	3,107,741	△ 192,259
CD製作費	0	0	0
諸会合会費	250,000	370,620	120,620
OA化諸費	350,000	313,308	△ 36,692
生徒褒賞費	150,000	290,000	140,000
事業推進費	300,000	84,500	△ 215,500
クラブ助成費	849,000	849,000	0
会費前受積立	1,200,000	2,620,000	1,420,000
在校生会費前受積立	1,981,000	1,981,000	0
引越費用	2,500,000	2,480,302	△ 19,698
予備費	357,957	85,000	△ 272,957
合計	17,997,957	17,974,032	△ 23,925

同窓生 交歓のひろ場

ドイツの変遷を見て

松下たえ子（高13）

初めてドイツ・ベルリンに行ったのは1968年。それ以来、長期や短期で毎年のように滞在したので、私はこの都会の変遷の様を観察する機会に恵まれました。

変わったのはもちろん景観ばかりではなく、そこに住む人々の意識です。中でも女性。女性自身はもとより、男性や社会全体の女性観が大きく変わりました。1970年代、80年代をドイツで過ごし、フェミニズムの集いに共闘の思いで参加してきた私には、日本とドイツのその後の進展の差に口惜しい思いを禁じえません。

それにはドイツで導入されたクオータ制（政治システムにおける割り当て制度）に負うところが大きいと言われています。

メルケルが首相の座についてからもう11年。その内閣では女性の閣僚が「ごく自然に」活躍しています。羨ましい。

ただ、えっ、するとそうなるのか、と思うようなこともあります。

例えば女性の国防大臣。フォン・デル・ライエンの言動が女性であることを理由に批判されたことは、軍隊側からも、フェミニズム側からもなし。同権は同義務を伴うので、女性が国防大臣になるのも当然の帰結なのでしょうか。

私の腑に落ちない疑問です。

ベルリンの街角に立つマスコットの熊と松下さん

筆者紹介

ドイツ文学者。元ベルリン自由大学講師、元成蹊大学教授。飯田市上郷出身。東京都八王子市在住。

海外からHELLO ＝36＝

林　光夫（高5）　カナダ バンクーバーから

私は1934（昭和9）年7月、飯田市駄科に生まれました。村長を務めた父親と地域の諸活動に奉仕した母親のもと、6人の兄妹と共にクリスチャンの家庭に育ちました。

母校在学中、天文班に籍をおき、時間が許す限り天文観測を行なった事が懐かしく思い出されます。また、夏場、屋外プールでよく泳いだ事も懐かしいです。

大学を卒業した1958年に渡米しました。NKK（日本鋼管、現JFEスチール）ニューヨーク事務所へ入社し、カナダのバンクーバー事務所長、米国子会社社長などを経て退職し、バンクーバーに移住しました。

移住後は、日系プレース（日系文化センター・博物館、高齢者集合住宅）の建設計画、募金活動、運営などにボランティアとして協力してきました。

2009年7月に天皇、皇后両陛下がカナダをご訪問の折、日系プレースを約1時間半ご訪問下さり、私が先導役としてご案内する栄光に授かりました。

在校生の皆さん。伊那谷、飯田市という素晴しい環境の中で生活し、勉学出来るのは幸運なことです。卒業後は諸先生方、同級生との連絡網を作っておくといいですね。連絡網が無いまま渡米した私からのアドバイスです。

天皇、皇后両陛下の訪問時に先導した林さん（左）（日加タイムス提供）

筆者紹介

中央大学経済学部、ニューヨーク大学大学院卒。日系文化センター・博物館会長、日加ヘルスケア協会副会長などを務める。

外食事業の百年企業を目指す!!

村田　宣政（高21）

現在、東京都内に46店の寿司、和洋食店を「魚がし日本一」「青柚子」などのブランドで展開しています。今年は8店舗を開店する予定で、3月には大阪中之島フェスティバルホールB1に立喰い寿司店「魚がし日本一」を開店しました。

毎年、新卒社員を受け入れ、現在、社員数が契約を含め600人と着実に事業を成長させてきました。気がつけば、26年の歳月が過ぎ、30年に届く所にまいりました。

本社は築地の中央卸売市場内に設置し、「魚と米を通して日本の食文化を見つめ、本物のおいしさで社会貢献を果たしていく」を理念に百年企業を目指しています。将来は、都内に60店舗、さらに日本の主要都市に展開し、健康に良い、魚を使った高タンパクな食材を扱う店を展開していきたいと考えています。

信州とのつながりでは、長野県人会連合会の副会長を務めさせていただいています。故郷飯田もリニア中央新幹線の駅が計画され、大きな発展が期待されています。

どうぞ皆様、南信州にとらわれず、グローバルな視点に立って経済の発展に尽くしてほしいと思います。仕事は人から与えられるものでなく作る、創るものと考えて活躍してほしいと思います。東京に来られて「魚がし日本一」の看板を見られたらお立ち寄り下さい。

百年企業を目指すという村田さん（南信州新聞社提供）

筆者紹介

獨協大学外国語学部フランス語学科卒。広告代理店業、ほっかほっか亭弁当事業後独立。株式会社にっぱん社長。神奈川県在住。

クラシック音楽とともに

和田佳律瑠（高41）

飯田を離れて東京や様々な地域での生活を経験し、素朴で人の温かい飯田の良さを年々感じています。

私は薬剤師として働く傍ら、ピアノを続け演奏活動を行っています。今は作曲家シリーズのリサイタルとして、作曲家ゆかりの地を訪れ、曲の解説等を交えたリサイタルに取り組み、飯田でも2013、15年に開催し、今後も予定しています。

日常では多様な悩みを抱える患者様と接して思うことがあります。「今、ここにクラシック音楽の響きがあれば、どれほど心安らぐことか……」と。

最新の医療や薬だけではどうにもならない事もあります。人間には心や感情があり、繊細なのだと感じます。些細な言葉や心遣いで、笑顔になったり、元気になる患者さんをたくさん見ています。

そして、音楽にも不思議な力があり、私は音楽から勇気、優しさ、癒しをもらっています。

薬剤師・ピアニストとして、人の『身体』や『心』の健康に役立つよう、子供から大人まで、多くの人の健康意識の向上とクラシック音楽への関心を目指し今後も歩み続けたいと思います。大好きな飯田の街に素晴らしいクラシック音楽と『健康』『笑顔』『夢』があふれることを願って。

リサイタル後に、小学生から花束を受け取る和田さん

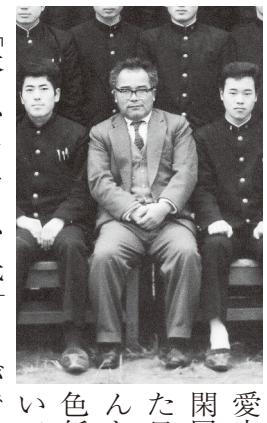
筆者紹介

星薬科大学薬学部卒業。病院薬剤師などを経験後、現在は調剤薬局に勤務。3歳からピアノを始める。飯田市上郷出身。山梨県在住。

我が師の恩 ③

故　矢島　勝　先生

社会　在職　昭和27年4月～53年3月



「本日、アナさ、低気圧！」、胡桃の木の下の新聞班の部室にそういう情報が入る。

「熱帯性？」「それは大丈夫！」

そこで安心して授業に出て行く。そんなふうに私たちはアナグマ先生に親しんでいた。

先生は堂々たる一高―東大出であるということだった。この学歴がものを言ったのが、私達新聞班による日夏耿之介先生訪問だった。

矢島先生はいつの間にかインタビューの約束を取り付けてきて、ことができた。

新聞班の顧問としては全く編集に口を挟まず、心得だけを言ってくれた。このおおらかさが忘れ難い。

昭和57年6月。矢島先生の葬儀には、ラグビー協会の横断幕があり、ラグビー関係の方々が大勢いた。遺影のちょっと首を傾げておられた風貌が懐かしかった。

最後に。先生を幸せにしたのは夫人であったと、親族みんなが言っていたという。

北原和子（高16）

愛宕神社そばに閑居しておられた日夏先生をみんなで訪れた。色紙までいただいて記事にする

支部からの発信

定期総会と研修旅行を楽しむ

喬木支部

平成27年度定期総会は8月30日、本会より大田中副会長を迎え、盛大に開催しました。議事のあと、上郷史学会会長の中島正韶氏（高11）に「母校校歌と喬木村歌作詞者福澤悦三郎（青藍）」の講演をお願いし、豊富な資料とパワーポイントによるお話を興味深く拝聴しました。

また、毎年、会員家族を含めて小旅行を行っています。27年度は、国宝犬山城・有楽苑見学と城下町散策の旅を総勢19人で実施、特に犬山城では、ボランティアガイドがたまたま豊丘村出身の同窓生であることが判り、思わぬ邂逅に一層楽しい旅となりました。

福澤亀人（高6）

平成 27 年家族旅行 国宝犬山城

中41から高32まで参加

橋南支部

平成27年度の橋南支部の総会は、8月22日に23人の参加を得て松尾町の「糸へん」にて開催致しました。

原勉支部長（高20）の挨拶に続き、平成26年度の会計報告が大田中会計より行われ満場一致で承認されました。引き続き本会を代表して、大田中副会長（支部の会計と兼務）より祝辞をいただきました。資料を用いて、同窓会の現況について説明を行っていただきました。

固い雰囲気はここまでで、いよいよメインの懇親会です。原支部長の挨拶の後、中43回の高安先生の乾杯でスタート。今回は、最年長の中41回の長坂さんから、最年少の高32回までの皆さんに参加いただきましたが、40年の年齢差を感じさせず話が大いに盛り上がり、日本酒のお銚子が次々と空いていきました。時間もあっという間に過ぎ、最後は、高27の佐々木副会計の指揮で輪になって校歌を斉唱し、高3回の大野さんの発声で万歳を三唱し、閉会となりました。

外松秀康（高26）

声高らかに校歌を斉唱

暁峯会 =広がる和の輪=

下久堅支部

本会は発足以来70数余年の伝統を誇る。正副会長は卒業年次順に、毎年交代します。役員の任期は一年ですが全会員が必ず一度は会長を務める「全員会長制」を採用しています。そのため毎年斬新な発想と活性化が図られており、これが当支部の最大の特徴です。この体制で昨年8月2日、観光ホテル「よし乃亭」にて出席者30人、来賓として矢澤副会長を迎え平成27年度の総会を開催しました。副会長からは牧島校長のメッセージ及び本校と同窓会の活動等についてお話をいただきました。続いて支部の事業及び会計報告と、役員改選が行われました。

講演会は本会会員の藤岡文夫さん（高28）から「地域包括ケアシステム」と題してのお話を聞きました。高齢化社会を迎えての医療福祉体制と我々自分自身健康管理について参考になると共に他人事ではないと深く感じさせられた講演でした。懇親会では初めて参加した会員の紹介もあり近況を語り合い冷たいビールも進み時の過ぎるのも忘れる程の盛り上がりでした。最後は恒例の暁峯会歌、校歌と応援歌を大合唱して閉宴となりました。

ケアシステムの講演

支部と在校生の交流会

阿南支部

毎年、支部総会の話題として「該当者がいるが、特に若年該当者が加入してくれない、総会に出てくれない」という声が出ます。これも支部の事業活動に魅力がないのかと思う反面、最近の高校生はコンパはしない、クラブ活動もやらない、通学は車で送り迎えと聞きます。これでは、親友づくりも、先輩・後輩づくりもできません。また絆、絆と言ってみてもむなしく聞こえてしまいます。

会員増強を長い目で見た時、在校生のうちからふるさとに関心を持ってもらう事が大切なのではないか、と考えます。ひとつの策として、支部と同郷在校生との交流会を継続的に開催したらどうかと考えます。支部から在校生に呼びかけ、顔見知りとなり、まちづくり等を訴える事がいずれ会員確保につながりふるさとへの定着につながるのではないか。

知久一彦（高10）

年に一回の集い

松川支部

27年8月22日、27年度の松川支部（安藤鉄夫支部長・高12）総会を地元の「たかさご」で開催いたしました。松川支部では、毎年盆明けの土曜日に開催することになっており、例年どおりの日程となりました。

当日は243人中20人の参加を得て盛大に行われました。本会から矢澤昭彦副会長（松川支部会員）にもご出席いただき学校・同窓会の近況等のお話を頂きました。議事では26年度の事業報告・会計報告・監査報告・27年度の事業計画・予算案が提案され承認されました。また、任期満了に伴う役員改選で新支部長に巻井清人（高14）が選出されました。総会は滞りなく終わり、懇親会に入りました。酒が進むにつれ、懐かしい昔話や近況報告など大変盛り上がりました。ゴルフ同好会が発足し10月には第一回の大会が開催されました。最後に校歌を大唱して閉会となりました。

巻井清人（高14）

心の絆

阿南支部

阿南支部（中村英文支部長・高14）は平成7年11月に会員数55人で発足いたしました。以降は大下条・富草・新野地区の持ち回りで年一回の総会を兼ねた懇親会を開いております。また近年はゴルフコンペも企画され近隣のゴルフ場のみならず、昨年は一泊二日で静岡まで遠征いたしました。

今年度の総会は7月12日に富草の「かじかの湯」にて、宮島八束会長を来賓にお迎えして、盛大に行われました。支部長挨拶のあと、経過および会計報告と続き、その後宮島会長より同窓会の現況と在校生の活躍ぶりが報告されました。小林勝副支部長（高16）の乾杯で懇親会に入りました。お酒が進むにつれ話も盛り上がり、時のたつのも忘れて賑やかに交流を深めることができました。最後に全員で肩を組みあって懐かしい校歌を斉唱し、来年度の新野地区での再会と母校の益々の発展を祈って万歳三唱をし、お開きとなりました。今後も会員一同が世代を越えて心の絆を深めることの出来るこの会を、大切にしていきたいと思います。

塩澤良麻（高19）

リニア新幹線について勉強

伊賀良支部

27年度支部総会を、8月23日地元「小鈴」において36人の出席で開催しました。本会から坂巻副会長のご出席をいただき同窓会や母校の勉学、クラブ活動の現状についてお話されました。在校生の男女の比率が約半々になっているとのことです。

議事では27年度事業計画が提案され、役員改選はもう一期継続という事で承認されました。恒例の講演は、飯田市リニア推進課長の細田仁氏（高33）による「リニア中央新幹線の現状について」という話でした。資料を見ながら飯田を将来、長野県の南の玄関口及び三遠南信地域の北の玄関口にするため、リニア駅周辺の整備基本構想の策定をしているとのこと、大変分かりやすい説明で勉強になりました。懇親会となり、出席者で最年長の伊藤芳之さん（中38）の乾杯により始まり、お酒が進むにつれて盛会になりました。最後に校歌を大合唱し、万歳三唱、次回の再会を約し、閉会となりました。

仲田長三（高13）

講演はリニアについて

27年11月～28年3月に開催された支部総会

27.11. 7	在京飯田	
27.12.12	泰阜	
28. 2.14	中京	
	松尾代	
	千山本	
28. 3.12	座光寺	
28. 3.13	鼎	
28. 3.19	伊那	
28. 3.26		

学年だより

卒業60周年を祝う

小林　泉（高7）

卒業後60周年を迎えて、還暦？とはいわないでしょうが歳は傘寿と言う事に。既に多くの同志を天国に送りました。在郷高七会を母体として首都圏、中京地区と毎年それぞれに総会を開催し参加し合って交流し、親睦を深めています。74号でも触れましたが、35年ほど前から毎年市内の中部電力のショールームで「高七展」を開催してきました。

今回記念行事として美術博物館の市民ギャラリーに於いて同展を開催できたのも、その集大成とも言うべきものとなりました。地元在郷の有志で毎月第三土曜日に例会を開催し杯を交わして40年。

こうした纏まりが高松魂を持ち続ける明るさであり同窓会に対する思いを持ち続ける原動力に。

傘寿を迎える面々（平27.10.24　三宜亭にて）

卒業55周年に集う！

坂牧　昌宏（高14）

飯田高校第14回生「三七会」は、卒業55周年記念同窓会を七年毎に行われる「飯田お練りまつり」に合わせて、3月26日・27日にわたり「三宜亭本館」で95人の出席のもと盛大に開催しました。

実行委員長を菅沼哲夫君が務め、宮島同窓会長、牧島学校長のご臨席を仰ぎ、5年振りに旧交を温め、絆を強めることができました。

記念式典で母校へ教育振興基金、同窓会へ社会貢献基金を贈呈、記念コンサートでは、ソノール・クラリネットアンサンブルによる黄金の音色に感動し、記念行事を無事終えることができました。次回の再会を約束して。

黄金の音色に感動！

歌文集『歳月茫茫』の刊行を祝う会（二〇一五年九月十九日）

岡村　隆臣（高2）

やうやくに「歌文集」を編みにけり傘寿超えたる生きし証に

生涯に唯一回の集ひなり祝いの席は涙も笑ひも

亡き母もこの会場に居られるらし一人声なく呼びかけてみる

卒業50周年記念開催

土屋　公久（高18）

入学時450人という大所帯で卒業半世紀を迎えた我ら18回生は、昨年10月25日、50周年記念を開催した。

ゴルフ、伊那谷道中、満蒙開拓記念館見学後、夕方昼神温泉「吉弥」に70人が集合し式典が始まった。宮島同窓会長・牧島校長に列席いただき、教育振興資金として30万円贈呈した。恩師の関川光彦先生が宇宙論に熱中されていることや、小林正昭先生が87歳の高齢で松本から車で駆けつけていただいたことを聞き驚きもした。

二次会ではカラオケで懐かしい高校時代にタイムスリップした。また、別れ難く仲間と紅葉を見に行った人たちもいた。

校歌斉唱で開宴

恩師の退職祝い

班と私

バレー班OB　内藤　義人（高33）

高校時代にバレー班の顧問をしていただいた加藤正明先生（元長野県バレーボール協会審判委員長）が「定年退職」ということで、32回～35回生が先生を囲んでのお祝いの宴をもちました。

加藤先生は新規採用で飯田高校に着任されてから8年間、男女のバレーボール班をご指導くださり、バレーボールの奥の深さと楽しさを私たちに教えてくださいました。参加者全員がバレーボールに魅かれ、高校卒業後も何らかの形でバレーボールにかかわっていたことが判明。そして「恩師」への感謝の意は、バレーボールと自分たちを深く結びつけていただいたこと、高校卒業から何十年経っても、こうして集まることができる仲間をつくっていただいたこと…それぞれの方から感慨深く語られました。

私自身、高校の教員となりバレー部の顧問を続けています。加藤先生のチームと対戦をして勝ったり負けたりする中、若いころは恩師のチームに勝つことが恩返しのような気もしていましたが、今は自分に足りないところを吸収しようという気持ちが大きく、先生が退職されてしまうことにとても寂しさを感じているところです。

最後になりましたが、現役のみなさんのご活躍と、同窓生のみなさまのますますのご健勝をお祈り申しあげます。

加藤先生（中央）を囲んで

校歌物語⑰ ―青藍先生の歌の力―

校歌の作詞者、福澤悦三郎は上伊那農高など10校余の校歌を作詞し作曲もしています。福澤は母校赴任前に作曲家としても知られていました。

校歌以外に『木曾唱歌』『戦時唱歌』『上伊那郡唱歌』『飯田尚志社歌』『喬木村歌』等があります。

青藍作詞・長谷部巳津次郎作曲の喬木村歌（明治42年・1909）は、校歌として教えられ歌われていたと考えられます。今でも、村歌として村内二小学校で歌われており、成人式には参列者が斉唱します。集落に歌碑があり親しまれています。作曲者は校歌作曲者井出茂太の後任です。

今も歌われている曲に『旭将軍』があります。木曾時代は「青藍」でなく「青嵐」です。

毎年8月14日夜、義仲の菩提を弔う六百余年の伝統行事「らっぽしょ」があります。少年少女約40人が山吹山で「木」の字焼きをし、松明を手に山を下り日義の徳音寺へ向かいます。子どもらは『旭将軍』を歌い堂々の行進です。木曽川を渡ると迎える大人も唱和します。義仲一族墓前の万歳で解散。乱れ卑猥な歌の飛び交う行事を立て直すため明治35年に作詞作曲したと伝えられ、以後百余年、毎年歌い継がれているのです。『木曾唱歌』のなかの一曲です。この歌集には「信濃の国」の作詞者浅井洌の3曲が載せられています。

「らっぽしょ」行進　平27.8.14

この後、福澤は東京高等師範・東京帝大に学び、風越高校歌作曲者の小山作之助と唱歌集を出版。やがて飯田中学へ赴任し♪赤石山は巍々として♪を作詞することになります。

中島　正韶（高11）

おらが同期の自慢ばなし⑫

運動会やらまいか！　藤本　清明（高20）

運動会やらまいか！　誰が言い出したか覚えていないが、我ら20回生在校時代の最大の思い出は数年行われていなかった運動会を復活させたことだろう。当時の高松祭が学芸中心のマンネリ化した内容になっていたのに飽き足らず、何か新しいことをやりたいという単純な動機からだったと思うが、全校に熱気が漲り、異様な盛り上がりを見せたと記憶している。

巷にはGSが流れ、ミニスカートが闊歩する高度成長の真っ只中。一方で初の革新都政も誕生し、羽田流血デモ、成田闘争、そして翌年の学園紛争へと続く。学生を中心に自分達が何かを変えなければという気運が高まりつつあったあの時代の空気の一つの表れであったのかもしれない。

運動会の中の仮装行列（昭42年）

卒業後は他の学年と同様に25周年を初めとして節々に同年会を催してきた。その他15年ほど前に市内有志で結成した二十日会、年2回コンペを開催するゴルフサークルなどのクラス横断の集まりや、毎年一泊旅行を実施するA組、年2回の同級会に一泊旅行も復活させたG組、22回の同級会を重ねているH組等、それぞれに親交を深めている。女性も毎年8月10日に女子会を開くようになっているという。まだまだこれからだぜ我らが人生！

学園だより

４つの重点目標

母校の教育方針

現在の生徒数は一学年普通科２４０人、理数科40人で、およそ８４０人が在籍して学業に励んでいる。

学校の重点目標は、一、規律ある学窓・反暴力・活発な自治会二、進路希望への導線、夢の実現のために三、充実の班活動、盛んな学校行事四、開かれた学校、充実したサポートである。

従来の班活動、各種行事を通じて心身を鍛え、更なる進路を追求したことに加え、現在は「いのちと人権の尊重、いじめや暴力を許さないこと」、「地域や保護者との連携、安全安心で開かれた学校」等を目指すことが強調されている。

また、平成11年からは理数科が設けられ、「より高いレベルで自分を磨こう」と科学的研究活動の仕方を学んでいる。

理数科

より高いレベルに挑戦

一年生：夏休みに京都大学オープンキャンパスに参加し、各学部の説明会、大学教員による講演会、京大生との座談会により、生徒は京大の雰囲気を肌で感じ、高い意識を持つことの大切さを学んだ。

また、信州大学医学部長池田修一教授（高24）による模擬講義で、「わからないことにどう立ち向かうか！」を受講した。患者のため難病と闘い続けている池田先生の姿勢は、生徒の心に力強く響いた。

二年生：理数科担当の先生や多摩川精機、下伊那厚生病院の皆様の指導を受け、一年かけて各研究テーマの調査・研究、レポート作成、発表を経験できた。

1月、上郷公民館で発表会を実施し、活発な質疑応答を行った。

発表会での展示説明

報告集作成には同窓会のご支援を頂きました。

天文班

地域と連携した活動

宮澤芳重記念事業での発表（1月）

天文班は年度の後半3年生が抜け、3月現在1、2年生実質20人で活動を行っている。

主な行事は、毎月の校内宿泊観測と夏季野外観測会、上郷公民館と共同企画の小学生やその保護者を対象に天体教室を年に2回開催し、天文の知識の取得と普及に努めている。

加えて今年度は「宮澤芳重没後45周年記念事業」、「飯田市キャリア教育推進フォーラム」等、複数回に及ぶ実践活動発表など精力的に活動してきた。

また、日々の活動に新たに「流星群の電波観測」を取り入れ、その成果を発表できるようデータの取得を開始した。今後の飯田高校天文班の活動に注目していただきたい。

顧問　酒井幸雄（高40）

新生徒会長挨拶

3年　矢澤　智朗

新生徒自治会は10月に引継ぎ、班室清掃やスノコ製作、ハロウィン行事を行ってきた。

3月末には新入生に対し、自治会方針・活動、班・同好会活動のオリエンテーションを行い、充実した生徒生活が送れるよう努力している。

さらに自治会新聞等による広報活動の充実を図り、残り半年を頑張っていきたい。

全日本高等学校書道コンクール

―大澤真由さん全国展最高賞―

秀作品を展示しました。

今回母校の大澤真由さんが部門最高賞に選ばれ、3月県庁において長野県教育委員会表彰がありました。

部門最高賞を受賞

私はこの度、全日本高等学校書道コンクール硬筆創作部門部門最高賞を受賞しました。

中学からペン字を習い始めて4年目になります。ペン字はやりたい時にすぐ書けるところや行書の流れるような表現がとても気に入っています。普段は、書道班として活動していて、毎月いくつかの締切がありますが、班員全員で頑張っています。

このコンクールに出品するのは初めてで、今まで毛筆を出品したことはありましたが、硬筆を出品するのは初めての挑戦でした。

顧問の齋藤清先生にも添削していただき、この賞を受賞した時はとても感激しました。今後も班員と共に日々努力していきます。

大澤真由（2年）

最高賞受賞の大澤さん

将棋班

全国大会へ出場

全国大会での久保さん

私は1月29日に阿蘇市で行われた全国高等学校文化連盟将棋新人大会に出場しました。

5試合中3勝2敗という結果で、予想していたよりもよい成績を残せましたが、ベスト16への壁は厚いと感じました。

これから、もっと経験を積んで、来年の大会では少しでも上の成績を残したいと思います。（2面参照）

久保雪菜（2年）

母校エントランスでの展示

全日本高等学校書道コンクール

―大澤真由さん全国展最高賞―

秀作品を展示しました。

今回母校の大澤真由さんが部門最高賞に選ばれ、3月県庁において長野県教育委員会表彰がありました。

部門最高賞を受賞

私はこの度、全日本高等学校書道コンクール硬筆創作部門部門最高賞を受賞しました。

中学からペン字を習い始めて4年目になります。ペン字はやりたい時にすぐ書けるところや行書の流れるような表現がとても気に入っています。普段は、書道班として活動していて、毎月いくつかの締切がありますが、班員全員で頑張っています。

このコンクールに出品するのは初めてで、今まで毛筆を出品したことはありましたが、硬筆を出品するのは初めての挑戦でした。

顧問の齋藤清先生にも添削していただき、この賞を受賞した時はとても感激しました。今後も班員と共に日々努力していきます。

大澤真由（2年）

季節の野鳥「ルリビタキ」

「幸せを呼ぶ青い鳥」、オルリ・コルリと共に「瑠璃三鳥」の一つとしても人気が高い。全長14㎝、四国以北の高山の林で繁殖し、秋冬は暖地や低地でも見られる。食性は雑食で、昆虫類、節足動物、果実などを食べる。さえずりは、口笛のような音質、早口でヒリョヒリョヒュルル、地鳴きは、ヒッ、ヒッ、グッグッ。

（富士山5合目　奥庭にて7月撮影）

文と写真　母校教諭　三石友規（高26）

平成28年度大学等合格者数一覧表

今年は残念ながら、東大京大の現役合格はなく、浪人が１人京大に入っただけだった。しかし、医学科に現役で国立３人私立１人、浪人も同じく国立３人私立１人であった。特に現役では東北大医学科に合格した。私立も、現役で早稲田３人、慶応２人の合格を得た。

学校名	現	卒	学校名	現	卒	学校名	現	卒	学校名	現	卒
北海道	0	1	愛知県立	2	0	大東文化	1	0	岐阜聖徳学園	6	0
帯広畜産	1	0	名古屋市立	2	0	中央	7	3	中部学院	1	0
東北	1	0	岐阜薬科	0	1	津田塾	1	0	常葉	7	0
秋田	0	1	京都府立	1	0	帝京	3	1	愛知	9	0
山形	1	0	公立大学合計	22	2	帝京平成	2	0	愛知医科	1	0
茨城	2	0	東北医科薬科	0	1	東海	5	0	愛知学院	3	0
筑波	4	0	流通経済	1	0	東京医療学院	3	0	愛知工業	1	0
群馬	2	0	足利工業	1	0	東京家政	1	1	愛知淑徳	7	0
千葉	1	0	群馬医療福祉	1	0	東京経済	1	0	金城学院	4	1
東京海洋	0	1	群馬パース	0	1	東京工科	1	0	至学館	3	0
東京学芸	2	0	共栄	1	0	東京女子医科	1	0	大同	1	0
東京芸術	1	0	埼玉医科	1	0	東京造形	1	0	中京	26	2
一橋	1	1	城西	3	0	東京農業	3	1	中部	25	0
横浜国立	1	0	獨協	3	1	東京福祉	1	0	名古屋外国語	1	0
新潟	1	0	文教	6	0	東京薬科	1	1	名古屋学院	7	0
富山	6	1	神田外語	2	0	東京理科	4	3	名古屋学芸	4	0
金沢	3	0	秀明	2	0	東洋	15	1	名古屋経済	3	0
山梨	3	0	淑徳	1	0	日本	9	2	南山	12	2
信州	21	1	城西国際	3	0	日本女子	1	0	日本福祉	24	0
静岡	3	5	聖徳	1	0	日本女子体育	1	0	藤田保健衛生	17	0
愛知教育	2	0	千葉科学	1	0	文化学園	1	0	名城	10	5
豊橋技術科学	1	0	千葉工業	1	0	法政	11	4	鈴鹿医療科学	3	0
名古屋	3	0	和洋女子	1	0	武蔵	1	0	大谷	1	0
三重	0	1	青山学院	5	0	武蔵野	3	0	京都外国語	1	0
京都	0	1	桜美林	2	0	武蔵野美術	6	0	京都産業	1	0
大阪	2	0	大妻女子	1	0	明治	9	5	京都女子	3	0
神戸	1	0	杏林	8	0	明治学院	1	1	京都橘	1	0
奈良女子	1	0	北里	7	0	明治薬科	5	0	同志社	7	0
和歌山	1	0	国立音楽	4	0	明星	1	0	同志社女子	6	1
鳥取	2	0	慶應義塾	2	1	立教	10	0	龍谷	8	1
岡山	1	0	工学院	1	0	早稲田	3	2	立命館	34	9
広島	0	1	国士舘	2	0	麻布	1	0	関西	1	0
山口	1	0	駒澤	5	1	神奈川	4	0	近畿	2	2
愛媛	1	0	昭和	5	0	神奈川工科	2	0	その他私立大	6	3
高知	1	0	昭和薬科	1	0	関東学院	1	0	私立合計	482	62
九州	1	0	芝浦工業	1	1	昭和音楽	1	0	長野県短大	3	0
国立大学合計	72	14	順天堂	2	0	洗足学園音楽	1	0	国公立短大合計	3	0
高崎経済	2	0	上智	0	2	横浜薬科	0	1	創価女子短大	1	0
埼玉県立	1	0	成蹊	1	1	金沢医科	2	0	帝京短大	1	0
首都大学東京	4	0	成城	2	0	金沢工業	2	0	飯田女子短大	2	0
石川県立	1	0	専修	5	1	山梨学院	1	0	私立短合計	4	0
福井県立	1	0	創価	2	0	佐久	2	0	長野赤十字看護	1	0
都留文科	3	0	大正	2	0	諏訪東京理科	2	0	その他専門	1	0
山梨県立	3	1	拓殖	1	0	清泉女学院	1	0	専門学校等合計	2	0
岐阜県立看護	1	0	玉川	1	0	岐阜医療科学	6	0			
静岡県立	1	0	多摩美術	7	0	朝日	1	0			

第68回卒業式

卒業式は袴で？！

早春の陽の光降り注ぐ3月3日、第68回の母校の卒業式に同窓会来賓としてお招きいただいた。

今年は、279人の卒業生のうち、女子が男子より3人多いとのこと。その女子たちは袴などの和装姿がほとんどで、自分の知っていた卒業式に比べると随分華やかな雰囲気であることに驚いたが、男女共十代の可愛らしさに加え、知的な落ち着きに溢れたその姿に、温かい気持ちで胸がいっぱいになった。

吹奏楽班の美しい演奏で始まった厳かな卒業式の終わり、「蛍の光」の斉唱では、別れの涙というよりも、これから始まる新しい生活への若者らしい明るい希望と喜びが満ちていたように思った。

巣立ち行く卒業生の皆さんに心からの祝福を送ります。

副会長　小木曽玲子

編集部注・卒業式今昔

3月の卒業式では卒業生の半数の女子が着物に袴を着用、2人がスーツ姿で、男子も10人余が羽織袴で非常に華やかな式でした。

学校史によると制服の自由化は、全校生徒と学校による決議の結果、昭和47年の高松祭から始まった。これは「制服の廃止」ではなく、あくまでも「制服着用の自由」でした。

現在の生徒申し合わせでは「勉強に適したものを着用し華美にならないよう」になっています。「自覚され、誇りある飯高生」であるための自由化が、昭和の終わり頃から「卒業式には、一年前や入学時に予約した貸衣装でも華やかな着物が着たい」に変化していったのか。

さらに記憶すべきことがあります。明治35年3月飯田中学校第1回の卒業式は、入学生80人中18人だけが卒業証書を手にすることができた。経済的や厳しい授業に涙をのんだ学生がいたことも我々卒業生は思い起こしてみたい。

華やかな卒業式　後ろに両親と祖父母

寄贈品の紹介

【書　籍】

- 「卒業35周年記念同窓会誌」「精華を揚げん美をなさん」写真集･DVD …… 高33回卒業35周年会
- 「ATSUSHI KITAGAWARA ARCHITECTS」…… 北川原　温（高22）
- 「交代寄合伊那衆異聞」佐伯泰英著　第16巻、21~23巻 …… 匿名希望
- 「赤石巍々」卒業60周年記念誌 …… 高7回卒業60周年記念会
- 「いま宮澤芳重」… 宮澤芳重没後45周年記念事業委員会
- 「課題研究報告集」平成27年度 … 飯田高等学校理数科
- 「夏目漱石と信州」 …… 中田　敬三（高　2）
- 「伊那」伊那史学会2013年10月~2016年3月 …… 井出　雅陽（高17）
- 「春風江上一中国で考えたこと」… 齋藤　　憲（高17）
- 「伝わる手書きの練習帳」イラスト土屋和全（和泉） …… 土屋　和泉（高56）
- 「卒業55周年記念同窓会」記念誌 …… 高14回（三七会）卒業55周年記念同窓会実行委員会

ユニークな集いのお知らせ

中京支部飯伊同窓会

昨年より中京地区支部長を先輩より指名され、上司と先輩の命令は断れないのでお引き受けしました。初仕事のご報告をさせていただきます。

飯田下伊那地区6校の中京、東海支部の同窓会、懇親会を昨年の11月14日に名古屋市内で開催致しました。飯田工業、長姫、阿智、阿南、風越高校と今回幹事高の飯田高の6校で170人程の参加をいただきました。当日は牧野飯田市長にもご出席をいただき、リニア計画など、飯田下伊那の将来について大変希望が持てるお話をうかがいました。またこの会の発案者で、母校の大先輩、林虔二さん（90歳・中42）も車イスで出席され、お元気な姿を見せていただき大変うれしく思いました。

3年毎に開催されているこの会も大変楽しかったと評価をいただき、次回も元気でお逢いする事を楽しみにお開きとしました。

上段に並んだ6校の同窓会長

最後に、飯田下伊那からも、宮島同窓会長始め多くの方にご参加いただき会を盛り上げていただいた事に感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。

佐々木孝治（高17）

飯田高校教育振興基金

教育振興基金賛助金

1,322,300円

（平成27年10月1日～28年3月31日受付分）

寄付者名簿

高7回60周年記念会	197,525円
高14回55周年記念会	500,000円
高18回50周年記念会	300,000円
高33回35周年記念会追加	145,000円
第68回卒業3年B組	4,234円
赤石ゴルフクラブ	105,541円

飯田高校図書館へ　図書券寄付

木下　俊佐　高10回
佐々木康夫　高15回
池田　修一　高24回

平成27年度下期支援内容

理数科課題研究集作成 …… 100,000円

校内無線LANアクセスポイント設置 …… 219,736円

126号教室エアコン一式 …… 既設寄付

飯田高校教育振興基金振込口座名

◎ゆうちょ銀行
名義「飯田高校教育振興基金」
口座番号 00500-4-33149

◎飯田信用金庫上郷支店
名義「飯田高校教育振興基金管理運営委員会」
口座番号　普通　3617183

◎八十二銀行上郷支店
名義「飯田高校教育振興基金管理運営委員会」
口座番号　普通　117302

社会貢献基金

高14回55周年記念会 …… 100,000円

同窓会へ寄付

片桐　義通　高9回
佐久間紀子　高11回
田中　正知　高12回
青島　洋祐　高14回

南館新設

飯田高校の正門から入って一番奥にある校舎に南館があります。この南館は耐震構造上の問題があり、平成26年4月より建て替えを行なっていましたが、今年2月に完成しました。この校舎の2階に音楽室、柔道場、1階に剣道場、同窓会の事務局が入りました。

音楽室では従来、楽器の練習する際、特に暑い夏に窓を閉め切り音が近隣に聞こえないように汗だくで練習していました。新築によりエアコン、防音壁を設置、練習に集中できそうです。

柔道場、剣道場は風通しもよくなり、剣道の構え、柔道の型をみる備え付の大きな鏡も設置されました。

同窓会事務局は電源コンセント、電話、水回りの機能的配置、窓の増加などにより明るく作業し易い環境となりました。

母校を訪ねた際には、新しい環境の同窓会事務局で保存の資料を調べ、昔を偲ぶのも良いかもしれません。

新しくなった南館　来館時は
正面玄関で受付を済ませてお入りください

編集を終えて

今号の寄稿文に貴重な提案があった。同窓会、海外、支部と様々だが、社会、地域とのより深い絆が求められる今、同窓生という切り口は人の垣根を一瞬に越える力があるとの意と思う。ためらわず絆を求めたい。（宮嶋）

会員訃報

（中回生）

32	縄田　滋則	27・11・2	
32	二木　清	27・12・16	
35	岡庭　欽一	28・3・27	
36	池田　錬二	27・10・30	
36	長瀬　宰治	27・6・8	
38	宮澤　友彦	27・12・3	
39	代田　忠	27・5・21	
39	宮脇　邦彦	26・12・24	
40	菅沼　良夫	28・2・23	
41	吉川　良人	27・12・1	
41	古井　純男	28・3・2	
41	市川　正	28・2・18	
44	片桐　清之	27・6・13	
44	木下　健	28・1・29	

（高回生）

2	大野　源六	28・2・5	
2	野々口　弘	28・2・23	
2	山内　秀夫	27・9・24	
7	伊谷　郁夫	27・9・9	
6	古林　武八	27・8・21	
6	加藤　計治	27・6・20	
6	岡野　孝明	27・12・25	
5	佐々木富士恵	27・9・26	
5	酒井　良治	27・8・6	
5	高野　貞	28・1・21	
5	大沢　諄二	27・10・9	
4	森山伊那雄	27・9・25	
4	原沢　弘	28・2・15	
4	原　敏晴	26・12・21	
4	上松　昌弘	27・10・26	
4	伊東　邦	27・12・15	
3	原　恆	27・3・12	
3	倉田　克治	27・10・31	
3	鹿角　正昭	27・3・18	
2	和田　栄一	28・2・24	
9	伊藤　義祐	27・5・28	
9	小出　勉	25・1・7	
10	相原　功	28・3・14	
10	原　陽輔	28・2・17	
11	宮澤　修	27・5・29	
11	矢野　匡一	27・9・19	
10	平澤　功	27・12・27	
14	塩澤　宏康	27・11・11	
14	山田　武司	27・7・19	
16	関島　功	27・3・23	
17	篠田　恒宏	27・10・19	
17	近松　義人	27・10・25	
18	近松　奨	27・4・16	
18	吉川　治	28・3・7	
19	清水　茂則	27・12・5	
28	南嶌　宏	28・1・10	
44	宮澤　利明	25・5・7	
45	龍口　昭夫	28・3・25	
45	福澤　公夫	28・1・6	
45	吉川　四郎	28・3・18	
46	池田　弘	27・5・11	
46	竹村龍之助	27・11・13	
46	永見　喜保	28・3・1	
46	羽場　博人	27・11・28	
46	宮下阿智夫	24・7・29	
47	杉田　貞夫	27・11・1	
47	関島　利次	27・10・5	
47	関島　博実	27・9・30	
47	増田　喜邦	28・1・13	

○＝中1＝併2＝高　○○＝回数学年　○○○＝学年内の番号（五十音順）　○＝〒郵便引落 K高齢者会費免除 S終身会費納入済 M28年度会費未納 O会費前納済

封筒の宛名の数字・記号の意味！

会員名簿残部あります。平成24年版「会員名簿」頒価4500円（送料込み）同窓会事務局まで。

編集委員

委員長　平沢　忠明　高17
副委員長　宮嶋　孝彦　高19
委員　北原　和子　高16
宇佐美庸子　高18
小林　敏雄　高18
木下　博文　高20
前田由幾子　高20
市瀬　和義　高21
鈴木　桂子　高21
杉山　昭久　高22
菅沼　直樹　高23
篠田　和久　高44
中島　和浩　高47
平林　克之　高48
事務局　井出　雅陽　高17
小林　朱美　高19

在京飯田高校同窓会（首都圏支部）

昨年 11 月の在京飯田高校同窓会（首都圏支部）総会において役員改選が行われました。新しい体制は以下の通りです。

会　長　佐々木康夫(高 15)

副会長　本島　信(高 11)　幹　事　池田　正明(高 28)
副会長　田中健一郎(高 17)　幹　事　我那覇美千佳(高 37)
副会長　松原　秀幸(高 19)　相談役　西村　清一(高 7)
幹事事務局長　大原　直(高 21)　特別顧問　平田　達(中 47)
幹事会計　榊原　雅直(高 31)　顧　問　岡村　隆臣(高 2)
幹　事　金田　房雄(高 22)　顧　問　小椋　貞夫(高 5)
幹　事　三ツ橋史緒子(高 22)　顧　問　金田　明夫(高 7)
幹　事　今村　昭文(高 24)　顧　問　下井　善廣(高 13)
幹　事　前澤　義行(高 25)

事務局　本島信法律事務所内
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-1 イワカタビル 4 階
電話 03-5217-0666　FAX 03-5217-0667

第53回 関西支部同窓会のご案内

日　時：平成 28 年 7 月 3 日(日)
11 時～ 15 時（受付 10 時 30 分～）
会　場：**生田神社会館** TEL 078-391-8765
（JR 三ノ宮駅より徒歩 約5分）
会　費：8,000円

支部長　今村 博昭(高 14)

顧　問　三沢 謙一(高 5)　幹事長(神戸)　茂木立 仁(高 37)
相談役　龍口 篤夫(中 47)　幹事長(大阪)　木下 泰雄(高 20)
相談役　小池 清廉(高 4)　幹事長(京都)　山田 孝久(高 18)
会計幹事　大平 文人(高 20)　庶務幹事　櫻井 健弼(高 15)

連絡先 事務局長　馬淵　洸(高 14)

竜丘支部定期総会 7 月 24 日開催予定

私事ですが、長年お世話になりました同窓会報編集委員を卒業 60 周年を機に引退いたしました。

小林　泉（高 7）

高 8 回生　八松会
卒業 60 周年記念大会 今秋開催

期　日　平成 28 年 10 月 19 日(水)
会　場　シルクホテル(飯田市錦町)

詳細については、後日ご案内します。
今から予定して奮って参加して下さい。

来たれ 17 回生！古希の会　お知らせ

日　時　平成 28 年(2016 年)11 月 12 日(土) 15：00～
場　所　シルクホテル(飯田市錦町)　TEL0265-23-8383

※詳細は別途郵送しました

実行委員長 羽生　郁久　事務局長 斎藤　憲

30th Anniversary

光インキャストビジョン 始まったよ！
株式会社 飯田ケーブルテレビ

代表取締役社長 原　勉(高20回)

回生堂皮膚科クリニック

院　長　山 田 秀 樹（高 20 回）

〒395-0003　飯田市上郷別府 3345-11
TEL　0265(22)0511

高 20 回生の皆さんへ

定期総会に合わせ同年会を実施

○同年会・懇親会
6/11(土)　シルクホテル　18：00
○親睦行事
6/11(土)　ゴルフコンペ
6/12(日)　市内ツアー
詳細は実行委員会事務局まで
●定期総会
6/12(日)　マリエール飯田　13：30

総会当番幹事として多数参加しよう
高 20 回定期総会実行委員会

一般社団法人 長野県自動車整備振興会
長野県自動車整備商工組合 飯田支部

welcome to oasis

支部長　宮澤　修一（高 20 回）
副支部長　原　義博（高 20 回）
　伊藤　敏宏（高 37 回）
幹　事　清水　良彦（高 31 回）
　大蔵　利宏（高 36 回）
　塩沢　勝穂（高 41 回）
　田中　誠一（高 41 回）
事務長　佐々木明彦（高 37 回）

〒395-0807　飯田市鼎切石 5086 番地の 1
TEL(0265)22-6302
FAX(0265)22-6333

古い伝統・新しい技術
木下建設株式会社

本社／〒395-8680 長野県飯田市松尾町 1 丁目 22 番地
TEL(0265)22-2780 代 FAX(0265)23-8899

代表取締役　木下　隆由（高 11 回）
取締役　伊藤　毅（高 17 回）
取締役　井坪　修（高 20 回）

高齢者医療に取り組む病院
医療法人社団神愛会　オアシス湘南病院
関連施設　オアシス湘南クリニック

理事長　宮澤二夫(高 20 回)
神奈川県海老名市中河内1227番地1　TEL 046-238-6262

下取りに出す時、不要になって手ばなす時、あなたのクルマを高く買い取ります。
クルマの査定は、どこでもいっしょと思ったら大損するかもしれません。

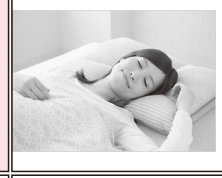
車買取専門店 アップル
TEL.0265-52-4040
飯田バイパス店　飯田市鼎名古熊 587-1
他県内 8 店舗
有限会社　原ホンダ　0265-22-2096

代表取締役　原　義博(高 20)／専務取締役　原　秀一(高 45)／原　玲子(高 42)・光澤祥生(高 52)

埼玉に根付いた産科病院
愛和病院

院長　上里忠司(高20回)
川越市古谷上 983-1　Tel 049-235-8811

枕を合せて快眠！オーダー枕と敷
《眠りのお悩みにお応えします》



小池ふとん店

代表取締役 小池敏文(高 20 回)
《桜町駅から見えるお店》
飯田市大門町 111 番地
電話 0265-22-2374

飯田自動車株式会社

代表取締役　宮澤修一（高20回）
総務課長　木村歩美（高54回）

飯田市上郷別府 3330-1
TEL 0265-23-0555

曹洞宗　太念寺

住　職　田中知秀（高20回）

〒395-0004　飯田市上郷黒田 635-1
TEL：22-0493　FAX：49-9010

建設コンサルタント
株式会社 長　姫

代表取締役　森脇修郎（高20回）
技術士(建設部門・鋼構造及びコンクリート)
〒395-0154　飯田市下殿岡 206 番地
TEL：0265-25-8855 代　FAX：0265-25-8860
土木技術者募集中

株式会社 コスモフーズサービス

代表取締役社長　牧内俊二（高 20 回）

本　社
〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村大字神稲 959-2
TEL 0265-21-2241 FAX 0265-21-2243
Mobile 080-2054-1000

各種折のし専門 製造卸
有限会社 上田屋のし店

代表取締役　宮島源治（高20回）
〒395-0083　長野県飯田市錦町 2-6
TEL(0265)22-7500　FAX(0265)22-7501

税理士　牧内秀幸事務所

所　長　牧内秀幸（高20回）
〒395-0051
(事)飯田市高羽町 5-6-12
TEL：0265-52-1188

鵜山歯科医院

歯学博士　鵜山秀夫（高20回）
（旧姓　小島）
〒639-2162　奈良県葛城市尺土 189-41
TEL：0745-48-6363　FAX：0745-48-8148

吉川歯科医院

吉川ルミ子（高 20 回）
〒395-0027　長野県飯田市馬場町 2-104
TEL：0265-24-7050　FAX：0265-24-8371

シナノケンシ株式会社

取締役　池田義和
（高20回）

永井仏壇店

永井亮敏（高 20 回）
飯田市八幡町 2160
0265-22-0749

株式会社アーク

取締役会長　林　光珠（高20回）
Kousyu Hayashi
〒411-0831 静岡県三島市東本町 2 丁目 1 番 36 号
TEL：055-972-5657
FAX：055-976-8666
Mail：hayashi@kohshien.co.jp

中国進出企業の経営コンサルティング
ホワイトレイド株式会社 WHITRADE

代表取締役　松尾　史朗(高20回)

(社)東京都宅建協会会員
有限会社　マーブル

代表取締役　筒井邦治（高20回）
〒113-0033　東京都文京区本郷 2-15-13
TEL：03-3816-7616　FAX：03-3816-7663
E-mail：marble2002t@snow.ocn.ne.jp

株式会社 マツザワ

おみやげ文化をもっと伝えたい
代表取締役　松澤　徹（高 26 回）
同窓生一同
〒399-3192 長野県下伊那郡高森町下市田 3123
TEL 0265-35-3911　FAX 0265-35-3955

MBL、欧州サッカー、SR などのスポーツ観戦
コンサート、パリコレ等の観劇　100%海外旅行
グローバルプランニング㈱

会　長　柴田広人（高 20 回）
〒105-0003　東京都港区新橋 3-2-5-5F
TEL 03-3507-9666　FAX 03-3507-9665

クリーニング工房 木下

（旧ファッションクリーニング木下）
木下直人（高 20 回）
飯田市鼎中平1947-6
Tel.0265-22-1839

食文化の未来を見つめ新しい農業環境を創造する
丸西産業株式会社

代表取締役　山下大輔
長野県飯田市松尾明 7581-1
TEL0265-22-3085 FAX0265-52-0449
http://www.taspass.com

ぶなしめじ栽培38年
全て自社できのこ栽培から加工まで

株式会社 白井農園

飯田市三日市場964
TEL0265-25-7256　FAX0265-25-5450
http://www.usui-farm.com/

このページはどなたでも応募できる同窓生交流の場です。奮ってご参加を！